基山町議会だより

基肄城（きいじょう）

Vol.99

2026年
November
11

特集
令和７年度
決算審査



シニアネット基山
久野（ひさの） 美津代（みつよ） さんの作品

ワードで作るアート（シェイプアート）、パソコンのWordで図形を組み合わせ、色やグラデーションを工夫して描いています。月夜の柿の木にフクロウがとまり、手前ではたぬきたちが楽しそうに並ぶ、心和む作品です。

特集

令和７年度決算審査

基山町議会では、例年９月の定例会で、「決算特別委員会」を設置し、前年度の町の決算を審査します。執行された予算の額が適正だったか、使い道は正しかったか、財政の状態は健全なのかなどが論点であり、９月の段階でこれを行うことで、次年度の予算編成への反映を求めることができます。

まずは、「監査委員」のお二人が、町の財政をどのように分析したのかご紹介します。

決算書を審査した結果、関係法令に基づき適正に作成され、決算計数も適正に表示されていることを確認しました。今回は「財政の健全化」を主眼に審査しています。



太田代表監査委員



中村監査委員

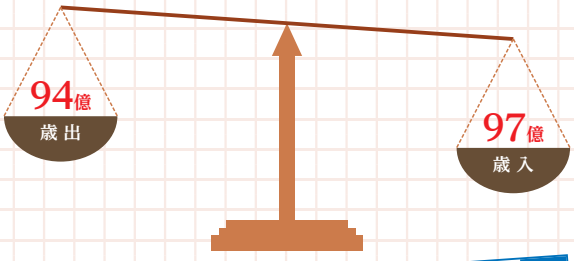
決算収支は健全

歳入から、歳出と翌年度に繰り越すべき財源を引いた結果、

２億９千万円の黒字でした。

実質収支比率は5.9％で妥当な水準と考えます。

これまで継続して黒字を維持していることから健全な財政運営が行われていると評価できます。



町税収入は過去最高額を更新

「町民税＋固定資産税」は３年前に比べ２億8,800万円増収しました。その主要因は定住促進施策や企業誘致の取組の成果と認められ、自主財源の確保に大きく貢献していることは高く評価できます。今後も、これらの取組を継続・充実されることを期待します。

自前の税収で行政サービスをどれだけ賄えているか。数値が１に近いほど財政力は強いことになります。

財政力指数は比較的高い水準

財政力指数は**0.63**で、類似団体中13位、

佐賀県内の20市町中３位

でした。

比較的安定した財政基盤を有していると考えられます。

財政の持続可能性も良好

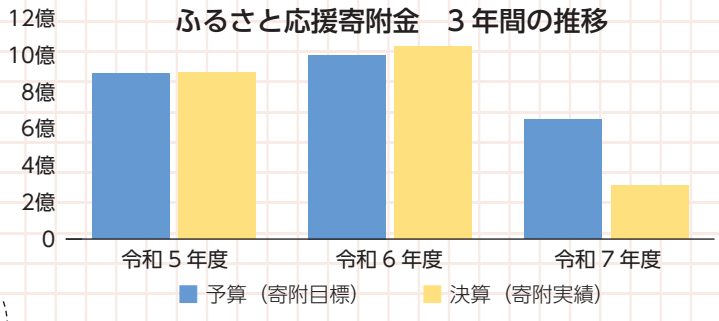
町債残高は長期的に着実な減少傾向にあり、基金残高も一定水準を確保しています。町債残高から基金残高を差し引いた額も長期的に縮小しており、財政の持続性という観点から良い傾向にあると評価でき、基山町は財政規律が保たれているといえます。

数字で見る基山町の財政

項　　目	令和７年度	監査委員の評価
実質収支比率	5.90%	妥当な水準
財政力指数	0.63	佐賀県20市町中３位と安定
町税収入	27億8,800万円	過去最高額を更新
町債残高	54億円	毎年着実に減少
基金残高	39億円	一定の水準を確保
ふるさと応援寄附金	約３億円	前年度から大幅減収

ふるさと応援寄附金は今後の課題

ふるさと応援寄附金は**前年度より大幅な減収**となりました。今後、本町が寄附金を集める魅力的な返礼品・施策をどれだけ用意できるかが問われます。自主財源の安定的な確保に努めていただきたいと思います。



Next Page
特別委員会内でも論点に…

監査委員からひとこと

本町の財政は現時点では概ね健全な状況にあると考えます。今後も、これまでの成果を活かしながら自主財源の確保と、**限られた財源の効果的・効率的な活用に努め、**将来にわたって安定した財政運営を継続されることを期待します。

各会計の収支額

	歳入	歳出	差引額
一般会計	97億4,623万円	94億3,386万円	３億1,237万円
国民健康保険特別会計	21億1,496万円	20億5,074万円	6,421万円
後期高齢者医療特別会計	３億9,388万円	３億9,184万円	204万円
	収益	費用	純損失
下水道事業会計	４億9,486万円	４億9,536万円	50万円

「決算特別委員会」の中で特に注目された点をご紹介します。

定 住

「アモーレ・グランデ基山」入居状況は？

A　入居率はほぼ100%です。
PFI事業により、年間約1,400万円の家屋購入費、約730万円の指定管理料の支出がある一方、年間約400万円の基金積立を行い、基金残高は現在約3,000万円となっています。

Q　子育てが終わった世帯の入居状況は？

A　子供が18歳を超えた世帯の入居状況は今後調査を行います。



提案　子育て・若者支援住宅としての目的を踏まえ、入居実態や将来の大規模修繕費などを検証し、適切な運営を図るよう提案しました。

道 路

道路補修維持

Q　舗装維持管理計画に基づく補修事業について、大型事業等による今後の財政負担増への対応と、道路補修の優先順位の考え方は。

A　財政状況によっては歳出調整を行い、事業計画の一部を遅らせる可能性があります。優先順位については交通量だけでなく、農地へのアクセスなど地域住民の生活実態を踏まえて判断します。



車も通れない町道

提案　損傷状況はもちろん、住民生活や農業への影響といった地域の実情を考慮して優先順位を検討すること、また国の補助制度を積極的に活用し、計画的な補修推進に努るよう提案しました。

教育

「MY ROOM(まいるーむ)」の現状と支援体制を確認

教育支援センター「MY ROOM（まいるーむ）」では、令和７年度に延べ1,015人の児童生徒を支援しています。施設の規模や支援体制について確認したところ、立地は体育館や総合グラウンドに近く、コミュニティバスも利用でき、適した場所である一方、多い日は利用者が10人以上となり、施設運営は限界の状況です。



町民 Voice

私たち家族にとって、まいるーむは、学校へ行くことが難しい子どもが安心して過ごし、もう一度「やってみよう」と思えるきっかけを与えてくれる大切な場所です　（匿名希望）

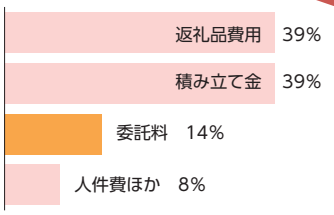
提案　県の支援終了後も継続的な財政的・人的支援を県に求めるよう提案しました。

ふるさと納税にかかる業務委託料

4,240万円

令和７年度ふるさと応援寄附金額は2億8,963万円であり、寄附金額に対する民間業務委託料（ポータルサイト手数料等）は4,240万円と返礼品原価に次いで大きい経費です。国も、手数料に関しては問題視し、事業者へ要請を行っていますが進んでいません。

寄附金の支出内訳

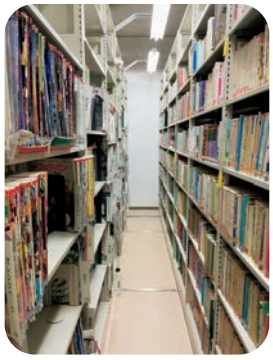


提案　経費を抑えて効率的に運用できるよう、近隣市町と連携して事業者との契約内容の見直し・経費削減に尽力するよう提案しました。

図書購入費 書籍購入実績と選定方法はどのように

1,199万円

令和７年度は5,783冊を購入し、このうち687冊は町民からのリクエストに基づくものでした。残る書籍については、司書が新刊情報や専門家の推薦、出版社の見本などを参考に選定しているとのことです。



提案　今後も書籍の貸出状況や町民ニーズを十分に踏まえ、限られた予算の中で、より効果的かつ効率的な蔵書整備に努めるよう提案しました。

9月議会

補正総額
5億5,800万円

町長・副町長の給与減額

9月に開かれた議会では、6件の条例改正案と、総額5億5800万円の補正予算が計上されました。その中の主なものを紹介します。

物価高騰対応の給付金および定額減税等に関する事務手続きに誤りがあり、**町に1,147万円の損失を与えた**ことについて、町の責任者としての責任を明らかにするため、町長および副町長の給与を減額する条例が可決されました。

給料月額をそれぞれ

町　長	10%
副町長	5%

減 額

対象期間：令和8年10月1日～
12月31日（3か月分）
※期間中の期末手当（ボーナス）も減額後の給料月額を基準として支給

本件に対する
町長メッセージ

提案　上司への速やかな報告と組織的な対応、年度を跨ぐ事業の確実な引継ぎ、徹底したリスク管理と町民への丁寧な説明を求めました。
また、再発防止に努めるとともに、職員の業務意欲が低下しないよう配慮し、新規補助金の獲得などにも引き続き積極的に取り組むよう提案しました。

重 要

卓球を主体とした一般社団法人設立「厳格な対応を求める附帯決議」可決

2024年に行われた国スポ・全障スポで、基山町は卓球会場になり、大いに盛り上りました。現在、**佐賀県・基山町・企業・卓球関係者で一般社団法人設立が協議されています。**議会としては、具体的運営方法・町の負担・将来見通しが不明であることから、3点について誠実に履行するよう附帯決議文を全議員で可決しました。

附帯決議（ふたいけつぎ）

附帯決議とは、議案に賛成した上で、実施にあたり守ってほしいことや改善してほしいことを議会の意思として示すものです。

要 旨

設立及び支援事業の推進にあたって、将来的な事業の維持可能性や公金の使途等極めて重要である。よって、以下の事項を厳格に尊重し、誠実に履行することを求め、附帯決議とする。

1．明確な将来設計及び中長期計画の策定と報告
2．財政的支援及び人員派遣の適正化
3．丁寧な町民説明と透明性の確保

8,657万円

総合公園北側の遊具設置 いよいよ始動！



遊具等のリニューアルイメージが示されました。設計のコンセプトは、児童用複合遊具と幼児用インクルーシブ遊具※が、安全に利用できる導線に配慮した配置設計です。

保護者の見守り用のベンチの配置や一角に日よけ付きボーダーベンチを設置予定です。

※多様な人々が、分け隔てなく一緒に楽しさを共有し遊べるように設計された遊具

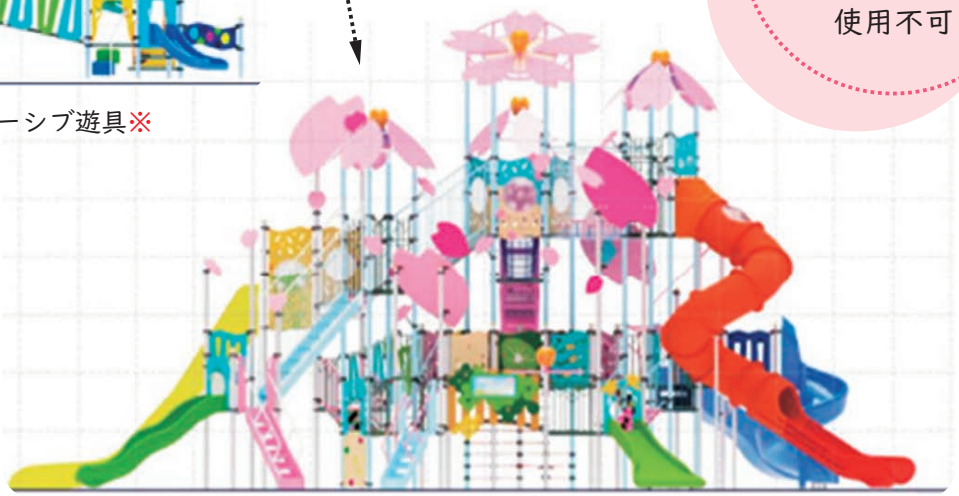
提案 夏休み期間中も親子同伴で利用されるので、暑さ対策に十分配慮した公園づくりを行うよう提案しました。

12月工事開始
R9年3月完成予定

※工事期間中使用不可



幼児用インクルーシブ遊具※（イメージ）



児童用複合遊具（イメージ）

町民 Voice

学校でも大人気のブランコが出来て嬉しい！はやく遊びたい！
老朽化が激しい箇所があったので、新しくなるのはとても嬉しいです！
ベンチもたくさん増えるようですね。座って見守れます！

（笹川れいくん、みあちゃん、母親）



第３回定例会

私の判断（議案の採決）

（ ○ 賛成　　× 反対 ）
※議長は採決に加わりません

			工藤絵美子	水田志保	中牟田文明	佐々木教雄	中村絵理	天本勉	松石健児	大久保由美子	乗野久明	重松一徳	大山勝代	松石信男	会議の結果
令和７年度決算	一般会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	特別会計	国民健康保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	認定
		後期高齢者医療	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	認定
		下水道事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
令和８年度補正予算	一般会計		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	特別会計	国民健康保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		後期高齢者医療	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		下水道事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例制定	町長・副町長の給与の特例に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正	基山町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正（他４件）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
契　約	基山総合公園大型複合遊具等設計・設置請負工事請負契約について（他１件）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	基山町下水道事業会計建設改良積立基金の目的外使用について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
規　約	三神地区環境事務組合規約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書の採択	地方財政の充実・強化に関する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
附帯決議	一般社団法人設立に関する決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長交際費執行状況表（令和８年７月～９月）

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方および行事名等	
会　費	24,000	令和８年度基山経済クラブ年会費	
合計件数(件)	合計額(円)	累計件数(件)	累計額(円)
1	24,000	3	34,038



Q 黒谷地区の配送センター建築はいつか
A 令和9年4月から建築着工予定

天本（あまもと）　勉（つとむ）　議員

Q 5号線バイパス沿い（上り線）の黒谷地区は、三甲（株）の自社パレット配送センター建築が予定されております。造成完了から6年が経ちます。建物の建築工事はいつ頃から始まりますか。

A 職員が上京する際には本社に出向き、早期進出の依頼をしています。人件費や資材高騰を受け、なかなか建築着工には至っておりませんが、現時点では建物の設計・建築工事の事業者選定を行っており、早ければ令和9年4月から着工できる見込みという報告を受けております。



黒谷地区の地区計画による造成地

Q 5号線バイパス沿い（下り線）の鎮西隈地区は、福岡地所（株）の物流倉庫建築が予定されております。造成完了から3年ほど経ちますが、建物の建築工事はいつ頃から始まりますか。

A 社長と面談の上、早期の企業進出を要請しております。現時点では具体的な立地企業や事業内容、進出時期の決定には至っておりません。引き続き協議を行い、早期進出に努めてまいります。



Q 国保税率の県内完全統一状況は
A 財調基金を利用し段階的に上げる

中牟田（なかむた）　文明（ふみあき）　議員

国民健康保険は国の保険料水準統一加速化プランにより、令和12年度に完全統一となります。現在の状況について質問します。

Q 令和8年度の県が示した所得割の標準税率と実際の税率は、どうなっていますか。

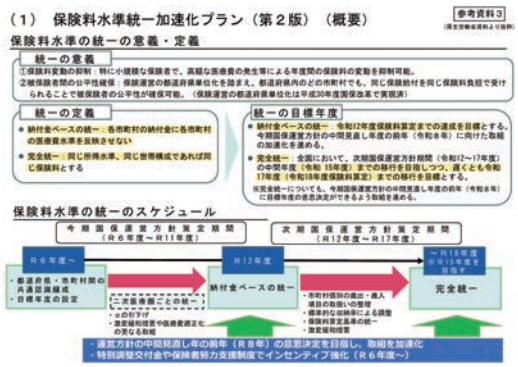
A 標準税率は14・06%です。実際の税率は令和6年度から14・0%のまま据え置いています。

Q 税率を据え置いた差額の財源は何ですか。

A 国保会計の財政調整基金が2億2千万円程度あり、それを活用して差額分を補っています。

Q 財政調整基金は何に活用されていますか。

A 税率抑制、18歳以下の均等割減免分、特定健診の集団健診自己負担免除分に活用しています。



保険料水準統一加速化プラン

提案 完全統一後も減免を続けるよう提案します。

町三役の給与について

町長・副町長・教育長の給与は県内20市町中、町長19位、副町長19位、教育長18位です。給与の引上げ検討を要望しました。

QRコードから一般質問の録画映像がご覧いただけます



Q 町公式ＬＩＮＥに「損傷通報」導入を
A 導入に向け進めます

大久保（おおくぼ） 由美子（ゆみこ） 議員

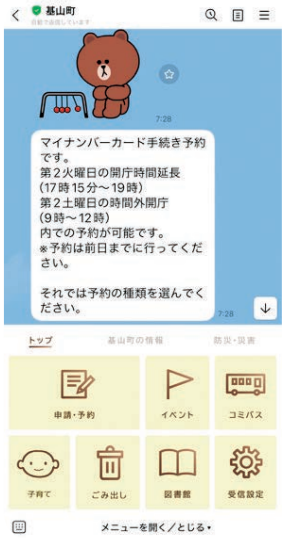
町公式ＬＩＮＥで行政手続の拡充を

Q 公式ＬＩＮＥのメニューに「損傷通報」を設け、町内の道路等の損傷や危険箇所について、町民からの情報を迅速かつ正確に把握するために、写真や位置情報等を添えて通報できる仕組みを導入できませんか。

A スマートフォンから、いつでも公式ＬＩＮＥで通報できるよう、導入に向け進めていきます。

Q 各種健診や10月から始まるデマンドタクシーも公式ＬＩＮＥから予約ができませんか。

A 各種健診は対象の業務を整理し導入を検討。デマンドタクシーは、実証実験の際、公式ＬＩＮＥで予約受付したので導入します。



町公式LINEのスマホ画面

育休中の放課後児童クラブ利用を

Q 国は、保護者が育児休業中でも、児童は放課後児童クラブを利用できると明確に示しました。本町の対応について伺います。

A これまで育児休業中は、利用停止としていました。今後は、10月1日から利用できるよう見直します。9月中に保護者や広報「きやま」、町ホームページで周知します。



Q ふるさと納税8年度見通しは
A 当初予算どおりの5億を目標

佐々木（ささき） 教雄（のりお） 議員

Q 9月末で1億2千万円であることから、あと6か月で3億8千万の寄付額が必要になるが、具体的な対策はありますか。

A ポータルサイトでの掲載表示の見直し、記載内容の見直し、また新たに地元業者から98品目の返礼品を追加し、目標を目指します。

Q 近年の寄付者のニーズの変化にどう対応しますか。

A 物価高の影響で高額品から生活品へと移行している。地産の魅力ある返礼品でアピールします。

Q サイト利用の手数料が高く、経費を圧迫しています。国も問題視していますが対応は。

A 国から手数料の引き下げについて要請が行われています。

Q ふるさと納税をはじめ、観光や移住施策にもマーケティングが必要であり、行政のマーケティングの必要性をどのように捉えていますか。

A 住民が何を求め、何を必要とするか検証するために重要です。

提案 町行政にマーケティングセクションの設置を求めました。



ふるさと納税の増額が町民を豊かにします



Q 手話言語条例の制定をどう進める
A 実効性の伴う条例制定を目指す

水田志保（みずたしほ）議員

Q 手話をどのような言語として、認識していますか。

A 手話は独自の文法や構造を持つ言語であり、音声言語と同様に意思疎通や情報取得、自己表現を行うための重要な言語であると認識しています。

Q 視覚障害がある方への窓口対応はどのように行っていますか。

A 指差しや筆談で対応するほか、月2回程度、役場内に手話通訳相談所を設置し、手続きや相談のサポートを行っています。

Q 情報通信技術を活用した情報保障を町として導入する考えは。

A 先進自治体の導入事例を参考に、手話リンク（オンラインによる遠隔手話通訳サービス）の導入について、今後検討していきます。

Q 条例制定までの具体的な手順と、制定時期の目標は。

A 令和9年度内の上程を目指し当事者や関係団体との意見交換を重ね、素案を作成します。その後パブリックコメントを実施し、実効性のある条例となるよう、丁寧に検討を進めていきます。



手話で「ありがとう」



Q まちづくり基金、その先どう支える？
A 活動団体は町の宝です

中村絵理（なかむらえり）議員

Q 基金の補助期間終了後も、地域に必要な公益活動を続ける団体を、活動実態に応じて支援できませんか。

A この基金は団体の自立を目的としており、継続的な支援は難しいと考えています。町民や団体の声を聞き、制度の改善や他の支援制度について検討します。



地域で支える河川敷の草刈り

地域の草刈りを誰が支えるの？

Q 高齢化などで地域による草刈りが困難になる前に、町と地域が今後の管理方法を相談する仕組みをつくれませんか。

A ボランティア、アダプト・新アダプト、業務委託など、状況に応じて段階的に対応します。継続が困難で担う団体もない場合は、町職員や業者への委託などにより維持管理します。困難なら町が管理します。

提案 地域の善意に頼るだけでなく、限界を迎える前に、町と地域で次の担い手を考える仕組みが必要です。

QRコードから一般質問の録画映像がご覧いただけます



Q 園部団地移転後の跡地の計画は
A 残られる世帯がいるので未定

松石健児（まついしけんじ）議員

公共施設等総合管理計画と財政計画

Q 当管理計画の改定時期はいつですか。また財政計画と併せ、物価や労務単価の上昇は考慮されますか。

A 来年3月に改訂予定です。中長期財政計画との整合性を考慮し、物価高騰等を踏まえて算出します。

Q 園部団地の移転計画では、令和10年4月には新たな場所に建設される町営住宅の入居開始が予定されていますが、園部団地跡地の今後の活用計画は考えていますか。

A 現在26世帯が入居中です。転居を望まない約10世帯は無理に退去させず、特に「絶対に転居したくない」世帯は1代に限り居住継続を認める方針なので、今後の計画は現在白紙状態です。

Q 建替え構想から10年程度かかっても、残留世帯のために跡地の有効活用計画ができていません。割田団地は約12年後には立替えの検討に入ります。今後の計画をすぐにでも打ち出すべきではありませんか。

A 基山駅東側の全体構想を検討し、割田団地の在り方もあわせて考えていきます。



移転後の計画が立っていない園部団地



Q 住宅取得支援制度の効果は
A 連続人口増、税収額増に寄与

桒野久明（くわのひさあき）議員

Q 住宅支援制度の利用状況と成果を伺います。

A 平成28年度の制度開始以来456件の方に交付し、そのうち町外から276件911人の方が移住されています。

Q 空家活用補助金と住宅取得補助金に連動する部分はありますか。

A 両補助金の併用申請は可能で、中古住宅を購入しリフォームしてから住むような場合に利用することができます。

Q 住み替え支援についての考えを伺います。

A 町内アパート等にお住まいの方が、住宅を取得した際にも活用が可能で、住み替え支援の効果が出ています。

Q 結婚新生活支援補助金の利用状況と課題について伺います。

A 平成30年度の創設以来、70人の方が基山に移住されました。県の補助金を活用していますが、申請条件が厳しくなっています。利用者に制度の周知をしっかり行う必要を感じているところです。



若者世代の移住定住が進む塚原地区



Q 町は地域の住環境の整備を
A 要望は早く検討したい

大山勝代（おおやまかつよ）議員

Q 町は町民提案制度などで、住環境の整備に積極的に努めています。５区と８区の境の町道永田線は水路と狭い道路が並行していて、車の離合ができない箇所があります。離合できる場所を早急に設置してもらえませんか。

A 今、どこに設置するか関係者と協議を行っています。



町道永田線の狭い道路

Q 13区公民館の西側にある二つの池のうち東側の池、桜の堤の埋め立てと、その周辺の樹木伐採など、周辺景観をよくしてほしいのですが。

A 10月に伸びている枝の剪定をする予定です。また将来的にため池の埋め立て計画をします。

特別障害者手当の周知徹底を

Q 認知症の人も、肢体不自由の人も、要介護の人も条件が満たされれば国から特別障害者手当がもらえます。その周知徹底をしてほしいのですが。

A この手当の対象は日常生活に特別な介護を要する20歳以上の方です（医師の診断書が必要。所得制限あり。）。月額３万４５０円が支給されます。広報などでその周知に努めます。



Q 介護保険料を上げるべきでない
A 過度な負担を求めないよう努力

松石信男（まついしのぶお）議員

Q 介護保険制度は、利用料の２割負担の拡大、ケアプランの有料化、要介護１・２を保険給付から外すことが議論されており問題です。来年度からの保険料は引き上げるべきでないと思いますがどう考えますか。

A 現在策定している計画の中で、過度な負担を求めないよう努力しています。



安心して子育てできる環境を

Q 人口減少を理由とした「特定地域」の指定は、各市町村の介護サービスに格差が出ると考えますが、見通しはどうですか。

A 基山町を含む１市３町は該当しないのではないかと考えます。

０歳～２歳児の保育料無償化を

Q 保育料の無償化は全国で広がり、県内でも多久市、太良町、唐津市、嬉野市が完全無償化や一部無償化している。基山町では第３子が無償になっていますが、拡充すべきと考えます。財政も県内では強い方ですが、どうですか。

A 第１子からの無償化には１億円、半額には６４００万円が必要です。今後必要な軽減措置については検討します。

QRコードから一般質問の録画映像がご覧いただけます



中山間地の土地利用適正化を問う
監視強化と空き家活用を推進

工藤絵美子議員

Q 市街化調整区域の無秩序な開発や違法な土地利用を防ぐための体制の現状はどうですか。

A 市街化調整区域では開発や農地転用が厳しく制限されており、特定盛土等も県の許可が必要です。違反の恐れがある場合は、県が調査や指導を行っています。

Q 空き家や耕作放棄地が増加する課題への対策はどのように考えていますか。

A 空き家バンクや活用補助金で利活用を促進し、適正な管理を促します。

Q 住民の安全を守るために、独自ガイドラインの策定や条例の検討を進める考えはありませんか。

A 独自の条例等は検討していませんが、景観計画や景観条例の制定を検討しています。

提案 今後、規制緩和を悪用し「法の目の網をくぐる」ようなケースが出てくる可能性があります。土地が正しく利用されているのか、実態把握や監視に加え、中山間地域の活性化について、もう一歩踏み込んだ取組を強く望みます。



住民の力で守られている田園風景



キングダム幕を譲り受けては
関係者と協議します

重松一徳議員

佐賀県は「キングダム」とコラボして様々な取り組みを9月30日までしています。キングダム空港、キングダム温泉、そしてキングダム全巻を東よか堤防に巨大幕として掲示しています。
基山町も一緒に取組が出来ないか質問しました。

Q 期間終了後、堤防に掲示しているキングダム幕を譲り受けて町内で活用できませんか。

A 県においても、保存や再活用が出来ないか関係者と協議しています。現時点では譲渡は難しい状況です。

Q 佐賀県議会でもキングダムとコラボについて議論されました。奇跡に近い取組だったと評価されています。この流れを基山町でも続けられたらと思います。

A 私たちの思いも同じです。原先生や出版元をはじめ佐賀県にお願いしてまいります。

提案 もしコラボが出来たら様々な取り組みが出来ると思います。難しい問題もありますが、頑張ってください。



キングダム全巻が掲示されている

総務文教常任委員会

基肄城跡整備事業について

基肄城跡保存整備事業の進捗状況について現地視察を行い、説明を受けました。

平成30年７月豪雨の復旧工事による遅延を経て、令和５年度より本格始動しています。計画は前後期各10年の20年計画で、現在は前期－I（令和５～９年度）を実施中です。

令和７年度までの事業費は計1億3,033万円（国50%、県・町各25%）で、遊歩道や案内サインを整備し、登山者が増加するなど成果も出ています。

委員会からは、景観調和や経費削減に加え、ボランティア等と連携した情報発信での魅力向上や、財政支援の確保を提案しました。

山頂で歴史を刻む方位盤



委員会レポート

厚生産業常任委員会

里山保全の取組について

基山町では、人口減少や生活の変化などにより、手入れされない里山が増え、竹の侵入による環境の荒廃や保水力の低下が心配されています。



孟宗竹がびっしり



特定非営利活動法人かいろう基山は、約60人の会員で里山整備を行い、これまで約5.7haを整備、年間約1,200本の竹を伐採しています。伐採した竹を活用した堆肥「基山の力」は県のコンクールで最優秀賞を受賞。担い手育成にも取り組んでいます。

委員会では、活動の意義を町民に広く知ってもらい、参加しやすい仕組みづくりを提案しました。

発行／基山町議会
編集／広報広聴常任委員会
〒841-0204 佐賀県三養基郡基山町大字宮浦666番地 ☎(0942)92-6543(議会事務局)
印刷／大同印刷株式会社
〒849-0902 佐賀県佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20 ☎(0952)71-8520(代)

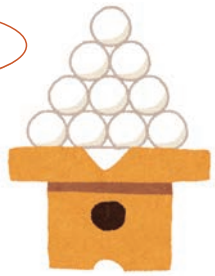


速報！中学生議会

10月３日（土曜日）、基山中学校３年生による「中学生議会」が開催されました。今回で８回目となる中学生議会。初めての議員バッジを胸に着け、あるいは町長や課長になりきって本番に臨みました。

果たして、３つの議案は通ったのか…？　次号の特集にご期待ください！

実は…
Youtube で
見れちゃいます



12月議会のご案内

※日程は変更になる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
		1 会期決定 提案理由	2 一般質問	3 一般質問	4 一般質問	5
6	7 議案審議 委員会付託	8 委員会	9 委員会	10	11 委員長報告 討論・採決	12

議会はネットでもご覧いただけます

編集後記

子どもたちの通学見守りが、
健康の秘訣と先輩が言っていた。
元気な子どもばかりではない。
親に叱られたのだろうか？
うつむき加減の子どもに「おはよう」と
声をかけ、一緒に歩く。
私も時にはふさぎ込むが、
子どもたちに励ましてもらおう～
おじちゃん、がんばれ～

（重松一徳）



サークル紹介

今回の表紙を飾ってくださった久野さんが所属する「シニアネット基山」は、パソコンやインターネットを通して、お互いに交流を深めながら仲間作り、生き甲斐づくりを行い、楽しむと同時にシニアの経験を活かして「奉仕されるより、奉仕しよう！」をモットーに地域に貢献することを目的に活動されています。

◇活動日
毎週木曜日　12:00～15:00
日曜日　9:00～12:00
Wordを使ったパソコンアートの勉強は月に１回行っています。

◇お問合せ
基山町文化協会事務局
（まちづくり課　92-7945）



広報広聴常任委員会
委員長　水田　志保　　副委員長　佐々木敦雄　　委　員　重松　一徳
委　員　楽野　久明　　委　員　中村　絵理　　委　員　工藤絵美子